

平成22年3月15日



子どもたちの明るい未来のために

日立市立小・中学校PTA連合会

PTA Union of Hitachi Municipal Elementary and Junior High Schools

日立市P連ホームページは「日立市P連」で検索ボタンをクリック！

URL http://www.net1.jway.ne.jp/pta_info/



目次

- ・会長あいさつ P 2
- ・生涯学習委員会 P 3
- ・未来委員会 P 4
- ・母親委員会 P 5
- ・情報委員会 P 6
- ・日本PTA関東ブロック
研究大会山梨大会 P 7
- ・日立市教育講演会
- ・「人は独りでは
生きられない。」
- ・「PとTと地域が
一層の連携を」 P 8
- ・「猛威をふるった
新型インフルエンザ」
- ・成沢小「おやじの会」



『交流と連帯のStabilityをめざして』

日立市立小・中学校PTA連合会

会長 茂野 勝雄



会員のみなさんには、日頃より、子どもたちの健やかな成長を願い、熱意と愛情をもって積極的にPTA活動に取り組んでいただいております。まずもお礼申し上げます。
また、当会の活動に対しましてご理解とご協力をたまわり、重ねてお礼申し上げます。

さて、平成二十一年度の当会は、

活動のスローガンを『交流と連帯のStabilityをめざして』とし、日立市内の小・中学校四十校のPTA会長と、母親委員のみなさんを中心に、『単位PTAへのお役立ち』の精神をもって、委員会活動や、事業を展開してきました。

特に今年度は、新たに、『家庭での基本的ルールづくりの大切さ』をテーマに取り上げました。

これは『早寝、早起き、朝ごはん』といった基本的な生活習慣や、ケータイ・インターネット利用等について、親からの一方的な押し付けではなく、子どもと共に考え、ルールをつくり、それらを通して、親子のコミュニケーションの在り方についても今一度再認識するためのきっかけとするものです。

子どもと親が膝を突き合わせ、普段はわざわざ言葉にしていけない家庭内での暗黙のルール、あるいは、あらためて親子の取り決めを言葉にしてみることはとても意義深いことだと思います。そして何より大切なのは、『親も子もお互い決めたルールを守る』ということだと思います。

今年度の取り組みは当会のホームページ等を通じ、それぞれの単位PTAへフィードバックしていきます。単位PTAにおいては次年度の取り組みとして積極的にご活用いただきたいと思えます。

最後になりますが、年度の移行に伴い、役員の任期を満了される方や、PTA活動から離れられる方々もいらつしやるかと思えます。

しかし、立場が変わるつとも、『ひかりかがやき たくましく ちからあふれるひたちっ子の育成のために』引き続き、PTA会員として、また地域の方として、お力添えをたまわりますようお願いいたします。一年間ありがとうございました。



今年度の役員・常任委員

△今年度の主な活動▽

- 五月 総会
- 六月 第一回単位PTA会長会議
- 十一月 日立市教育講演会
- 二月 第二回単位PTA会長会議



第1回単位PTA会長会議
「受付はこちらです!」



生涯学習委員会

平成二十一年度 委員会報告

生涯学習委員会委員長 梅原 郁夫

今年度は、『家庭のルールづくり』・「みなおそつーわが家の約束」をテーマとして、十名の委員、三名の常任委員、一名の幹事局員、そして、私の計十五名で活動してまいりました。



活動内容は、
一．本年度のテーマをもとにした二回の単位PTA会長会議と日立市P連担当の県北指導者研修会の企画運営、

二．ホームページに現在掲載されている「PTAお役立ちツール」の見直しの二項目としました。

まず、第二回単位PTA会長会議及び県北指導者研修会では、『家庭のルールづくり』について、県北地区PTA連絡協議会、社団法人青少年育成茨城県民会議、県北の教育委員会等と連携して、県北各校の会長、役員の方々と日立市の児童・生徒を交えた講演会、グループディスカッションを企画しました。しかしながら、新型インフルエンザの猛威のため、やむなく中止することになってしまい非常に残念でした。

この中止のため、例年第三回になるはずの第二回単位PTA会長会議

では、参加対象を各校会長と女性役員とし、日立版『家庭のルールづくり』・「みなおそつーわが家の約束」をテーマとした会議を企画しました。講師に茨城大学生涯学習教育研修センター准教授 長谷川幸介先生をお招きしての講演をいただき、その後、各校の会長、女性役員（父親として、母親としての立場）を六グループに分け、「ケータイ・インターネットのルールづくり」を共通テーマとし、六項目（食事のルール、テレビとゲームについてのルール、時間についてのルール、お手伝いと礼儀についてのルール、人との接し方についてのルール、お金についてのルール）の異なるテーマについてディスカッションをしていただきました。



真剣に話を聞く単位PTA会長のみなさん

これらの報告書を、各校PTA活動の基礎資料としたり、各家庭における「しつけ」や、「子どもとの会話」の切り口などに利用することで、「家庭教育」の一助となるものと確信しております。

また、日立市P連ホームページの「PTAお役立ちツール」について、単位PTAに対するアンケートを実施し、その結果をもとに情報委員会と協力しバージョンアップをいたしました。これにより各校PTA活動に携わる人たちへのさらなるアドバイスになるものと思えます。

今年度の委員会活動は、新型インフルエンザ流行によりいろいろと影響を受けましたが、それぞれの熱い思いとご協力により「中身の濃い」活動ができました。メンバーの皆様、本当にご苦労さまでした。

最後に、新年度の生涯学習委員会の皆様には、「ひたちっ子の育成」に目線を据え、また市P連連帯意識の構築のため、グループディスカッションの継続と「PTAお役立ちツール」内容の一層の充実を計り、連帯の『わ』を強固なものに育てていただきたいと思います。

一年間、当委員会活動に際し、ご支援・ご協力をいただき、ありがとうございました。



生涯学習委員会メンバー

第二回単位PTA会長会議

グループディスカッションまとめ
（抜粋）
「みなおそつーわが家の約束」

ケータイ・インターネットについて

現在の『ケータイ・インターネット環境』に対し、私たちができること講習会などを聞き危険度を理解してもらおう。子どもたちにモラル教育をする。ケータイを親の管理下に置く。

『ケータイを子どもに与える場合のルール』



熱く語り合いました！

- △ルール▽親の名義にする。
- △自分の部屋には、持ち込まない。
- △理由▽親の管理下に置く。
- △ケジメをつけさせる。
- △食事のルール
- △ルール▽準備・片付けをする。
- △いただきます、ご馳走様の挨拶をする。
- △理由▽責任感を持たせる。
- △食事に対して感謝の心を持てるように。
- △テレビ▽遅くまで見せない。
- △見る時間を決める。
- △ゲーム▽遊ぶ時間を決める。
- △宿題が終わってから。ソフトを選ぶ。
- △時間についてのルール
- △早寝、早起きを心がける。
- △「五分前」行動を励行している。
- △お手伝いと礼儀についてのルール
- △ルール▽夕食の手伝いをさせる。
- △風呂当番をさせる。
- △親も自ら進んで 挨拶をする。
- △理由▽将来に役立てられるため。
- △お手伝いの一環として。
- △見本となるため。

未来委員会

素晴らしい出会いのために

未来委員会委員長 沼田 浩一



未来委員会は、「一期一会」素晴らしい出会いのために」をテーマとして、日立市教育講演会に向けて活動してきました。

出会いとは、人生にとって非常に大切なものです。人は、出会いによって人生を大きく左右し、その出会いによって良くも悪くもなってしまう。子どもを持つ親として、子どもたちには、良い出会いがあつて欲しいと願っております。また、保護者の皆様にも、PTA活動などを通して、素晴らしい出会いがあることを願っております。その素晴らしい出会いの一つを、教育講演会を通じて与えられればと思います。

今年度の講師は、「モンスターマザー」や「小さな花が咲いた日」の著者である作家の石川結貴さんをお

招きして「小さな花が咲いた日」壊れた家庭、壊される子ども」という演題で講演いただきました。

講演会を多くの方に聴いていただきたいという思いから、講演会の演題については、未来委員会で決めようということとなり、全員の知恵を出し合つて今回の演題を考えました。

新型インフルエンザの影響で、講演会そのものの開催が講演会直前まで心配されましたが、何とか無事に終了することができました。

例年よりも参加者が少なかったことは残念でしたが、講演会に参加いただいた多くの方から、非常に良かったとの感想をいただいたことが嬉しいことでした。

今後も、日立市教育講演会が「子どもたちの明るい未来のため」、そして、皆様の「素晴らしい出会いのため」の場であり続けて欲しいと願っております。

最後に、日立市教育講演会が、教育委員会、教育研究会の方々をはじめ、未来委員会のメンバー、茂野会長、市P連幹事局及び事務局のご協力により、無事に終えることができましたことに心から感謝申し上げます。

そして、一年間委員長という大役を務めさせていただきましたが、多くの方との素晴らしい出会いに感謝いたします。



講演会スタッフ全員集合

石川先生（写真中央）ありがとうございました！



市民会館PR看板 ご覧になりましたか？

日立市教育講演会

来場者アンケート集計（抜粋）

感想・意見

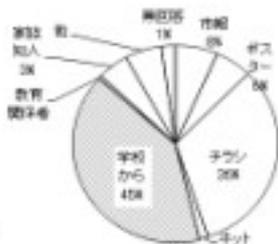
具体例をあげた話で、子どもたちをとりまく状況がよくわかった。
ネットやケータイの話がわかりやすかった。対策をもっと聞きたかった。
わかりやすい優しい口調で聞きやすかった。質問とその答えがとてもわかりやすかった。子どもの心に種をまき、小さな花を咲かせることができるよう努めたい。

ケータイ、ネットの話はとても参考になりました。
現在おかれている子どもたちをとりまく状況がよくわかった。
なかなか知ることができない話を聞けてよかった。

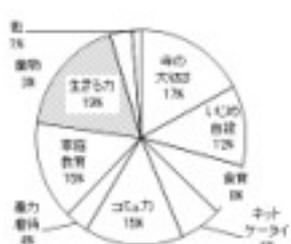
ブログやゲームにのまれずに管理できる人間が増えるといいですね。
やさしい口調がとても心地よかったです。
早く家に帰って子どもと話したいと思った。小さな花を咲かせる子育て・・・あまりしていいような気がしません。

家に帰ったら種まき実行してみたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

講演会を知った手段



来年度講演会希望テーマ



母親委員会

親から始まるコミュニケーション

母親委員会委員長 道口 みゆき



今年度は『紡ごう 愛情のWA (和・話・笑・環・輪) 伝えようI (愛) メッセージ』を大テーマとし、『親子のコミュニケーション』と『情報交換』でグループ討議を中心に活動してきました。

親子のコミュニケーションでは、家庭での工夫や、反抗期や思春期の子どもとかかわり方等、親と子の関係をグループ討議で考えていただきました。

全体会での発表内容を一部ご紹介します。『兄弟がいる場合は、別々に話を聞くなど、それぞれの状況に合わせた対応が必要』 『指示はしないほうが良いが、「お母さんはこう思う」と話している』 『子どもが話しかけてきた時は必ず耳をかたむける』 『父親に叱られた後は、母親がフォローする』、反抗期・思春期の対応では『自分もそうだったなあ』と見守っ

ている』 『親の意見を押し付けられないようにしている』 『子ども同士を比べない』等、子どもの話を聞き、親の意見を押し付けず、でも親の思いはきちんと伝えることの大切さを再確認しました。

また、「今の子どもたちを見ていて気になる事はありますか」と質問してみると『感謝の気持ちがない』 『やつてもらって当たり前』 『あいさつができない子が増えている』 『意欲がない』 『自己中心的』等の声がありました。同時に『様々な子どもがいるが、子どもはすべて0 (ゼロ) スタート。子どもを良くも悪くも、育てているのは親ではないか』との声もありました。

衣食住を保障し、体を大きくすることだけが、子育てではありません。人としての『心』を育ててゆかなければならないからです。でも、親である自分を思えば、なにも立派な覚悟があつて母になつたわけではありません。ぶつつけ本番、子育ての練習は誰にもできないのですから。

『子どもの話をどう聞いてあげたらよいか』 『どんな語りかけをしたら聞き入れてくれるのか』 『親としていいのか』等、子どもの成長にとともに、親としての姿勢をどう取るうかと悩むこともあります。

今の子どもたちは、生まれたときから家にはパソコンがあり、ケータ

イが普及しています。小学校高学年では五十%前後の子どもたちがメールをしているとの統計もあります。大人になつてからケータイやパソコンに触れた私達とは、明らかに「違う時代」に育っています。時代が変わつても、人との関わりをまったくなくすることはできません。

人とのコミュニケーションの基礎を、子どもに教えるのは親の役割であり、未来を生きる子ども力のになれるよう、親同士が学び合うことが大切になつてくるのではないのでしょうか。子どもが健やかに育つことを、親はいつも願っています。

次年度も子どもたちのために、母親委員会は活動していきます。

最後に、一年間の活動にご協力をお願いしました皆様には心より感謝申し上げます。



活発な意見交換をする母親委員会

母親委員会アンケートより(抜粋)

対象・各校母親委員

運動会・体育祭における場所取りに対する工夫

運動会前日の場所取りをやめた(混乱・混雑防止) ターフ・ロープ・杭での場所取りは禁止(スペースの取り過ぎ危険防止) 限定ゾーンを設けている(パラボル・ビデオ撮影等)

奉仕作業について 草刈り・除草・グラウンド整備・ペンキ塗り等 地域の方々の協力をいただいている学校も多い

今の子どもたちを見ていて気になる(心配に思ふ)こと 自分(心)の気持ちを表現することが苦手 ゲーム・ケータイなど機械を相手に遊んでいることが多いが、人と人のコミュニケーションは取れるのか? コミュニケーションの取り方が下手になつてい

PTA役員をしていて良かったと思うこと 学校に近づけたこと(先生方と親しくなり、気軽に相談ができた) 親の前以外の子ども顔が見られること 役員をしていなければ、出会うこと無かつた方々との関わりができたこと 考え方の幅が少し広がったように思う

色々な講演会に行き、話しが聞けること 色々な機会が増えたこと

皆さん、色々な取り組みや意見を出してくれました。奉仕作業に地域の協力をいただきました。近年では防犯対策にも地域の皆さんにお会いしたいです。ぜひ、地域のご協力をお願いします。ご協力ありがとうございました。PTA役員をしていて良かったこと、色々な取り組みや意見を出してくれました。奉仕作業に地域の協力をいただきました。近年では防犯対策にも地域の皆さんにお会いしたいです。ぜひ、地域のご協力をお願いします。ご協力ありがとうございました。

情報委員会

一年間を振り返って

情報委員会委員長 根本 功



今年度、情報委員会のテーマは「Waの定着」で、他の委員会との交流と連帯のWaを持ち定着につとめ、情報を通じて単位PTAのお役に立てる活動をしてきました。

主な活動といたしまして、他の委員会と交流を深め、情報をいただき、ホームページに各委員会の活動や、単位PTAの活動等をフォトニューズなどに掲載させていただきました。華だけではなく、裏方などの「おこぼれ」的な物も掲載することで、少しは身近に感じ取ってもらえたのではないかと思います。

また、「市P連のホームページ内で、メールがわかりにくい」と言う声がありましたので、リニューアルいたしました。メールの位置を変え、アイコンを目立つ様にし、メールでのご意見やご質問を発信しやすい様にしました。

さらに、各委員会活動も、各委員会ごとに見やすい様に、委員長挨拶とは別にページを作っているところです。

本誌「みらい」においても、「少しでも読んでもらい、お役に立てれば」と言う思いで、根本は変えずに少し趣向を変え、作らせていただきました。

ホームページをはじめ、広報誌「みらい」など、単位PTA等で役に立つ事ができたらうれしく思います。

委員会活動も熱が入り、年六回の予定が八回となり、回数を重ねることにお互いの気心を知り、楽しく委員会活動ができました。一人ひとり取り組んだ分だけ、心に残る委員会活動であったように思います。

ご協力、ご支援くださいました皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございました。



情報委員会活動の様子

情報委員会アンケートより(抜粋)

対象：市内四十校単位PTA

各校の特色あるPTA活動について

奉仕作業

校舎内外の清掃(トイレ掃除、窓拭き、換気扇清掃、側溝清掃、用水路清掃、花壇整備、除草等)

児童、保護者、地域団体、少年団、先生による学校敷地内の清掃作業

夏休みに校内の除草、清掃及び修繕

学校図書室に本棚作成

側溝の砂やゴミの除去

高所の窓ガラスやサッシ、配膳台や壁などの清掃

広報紙

入学式の様子、先生紹介、PTA役員、委員紹介

地域やPTA活動の様子、新任教員などのあいさつ

パトロール

夏休みや大晦日の夜間学校敷地内、まつり、防災訓練、運動会等

危険箇所の看板設置や校外巡視

夏休みの父親パトロール

夏休み車両パトロール

地区懇談会

地域、保護者、学校による子どもたちの安全と交流を目的とする懇談会

本の読み聞かせ

先生、親、地域の方の参加による本の読み聞かせ

高校説明会・見学会

日立市内県立高校三校、私立高校一校の見学

親子学習会

手話について

潮干狩り引率補助、海水浴場クリーン作戦

献血呼びかけ、実施

ケータイ教室

意見交換会

小・中PTA、地域による安全管理や生徒指導等についての情報交換

保護者、コミュニティ推進役員、安全ボランティア、地域有志等による下校時・危険箇所についての話し合い

小・中PTA役員と先生による近況報告等の意見交換会

地域の保護者の顔合わせ会(地域懇談会)

講演会のテーマ・内容

薬物乱用の恐ろしさについて

ケータイ・インターネットの世界

犯罪から子どもを守る地域や大人の力

食生活について(コミュニティ推進会と合同)

地球のステージ

性教育講演会

お話を通して子どもたちに伝えたいもの

本を通して絆を紡ぐ子どもたちの「読む力」と「読みたい心」育てるために



「どんな広報誌にしましょうか？」

第四十一回日本PTA 関東ブロック研究大会 山梨大会

分科会参加報告

幹事局長 鈴木 寿彦

十月十六・十七日と、二日間にわたり、日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会が、富士山のふもと富士吉田市におきまして関東地区の各地から約二千人が集い盛大に開催されました。初日は分科会が各八会場に分かれ、十のテーマにもとづき研究課題の発表と討議が活発に行われ、翌日は富士山アリーナにて大会式典・全体会・記念講演（アルピニスト 野口 健氏）が開催されました。

ここでは、勝山ふれあいセンターで行われた第五分科会「地域連携」の三番目に発表していた「活動」生徒の活動を支えるPTA活動」と題し千葉県白井（しろい）市立南山（みなみやま）中学校PTAの報告をいたしました。PTAの役割は先生や保護者が前面に出ず、生徒の安全面、経済面、精神面を支えるために色々な活動を行っています。

安全見守り活動（防犯活動） 部活サポート委員会 レクチャー21（年一回生徒が体験したい講師を招きグループ制で活動） 行事教室（学校区内の演奏家を招くなどの文化祭） 校内の緑化作業、壁のペンキ塗り、体育祭時の校内パトロール

保護者が少ない時間でもPTA活動に協力し、会員が、少ない時間でもPTA活動に協力し、うと思えるような内容でもPTA活動に協力し、夫したり、参加しやすいうちの環境を整えるには学校の協力が必要で、地域やPTAに支えられ、活動が充実した楽しい中学校生活、子どもが、近しい将来のこの地域を支えたい人が、私たちがこの地域を信じており、と結びの言葉



富士山アリーナにて

日立市教育講演会

未来委員会委員長 沼田 浩一

十一月二十一日（土）に日立市教育講演会が開催されました。今年度は「モンスターマザー」や「小さな花が咲いた日」の著者である作家の石川結貴氏をお招きし、「小さな花が咲いた日」壊れた家庭、壊される子ども」をテーマに講演をいただきました。今年度は、新型インフルエンザの影響により、市内の学校行事やPTA行事さらにはコミュニケーション行事など様々な行事が中止される中、この教育講演会の開催もぎりぎりまで判断が難しいものでしたが、何とか無事に開催できました。

この日立市教育講演会は、教育振興大会の第二部に位置づけられ、教育委員会と教育研究会、そして日立市立小・中学校PTA連合会（日立市P連）の三団体が主催となつて開催しているものです。新型インフルエンザの影響もあり参加者が若干減つてしまつたのは残念でしたが、三者の協力により今年度も素晴らしい講演会となりました。石川氏は講演の中で、「小さな花」を咲かせる子育てとは、「感情の交流」をすることが大切である。また、子どもに役割を与え、その役割に対して「ありがとう」「助かったよ」と言つてあげることで、家族の一員としての責任感、達成感ができ、自分が必要とされている自己肯定感が持てるようになる。その自己肯定感こそが子ども心に種をまき、それが成長していつか花を咲かせる」と語っていました。



優しく語る石川先生

今後教育講演会を通じて、未来の子どもたちのためにすばらしい出会いを贈れるよう、そして、私自身も出会う感謝されるような人間に成長しなければと感じた講演会でした。より詳しい報告はホームページをご覧ください

人は独りでは、生きられない。第二回単位PTA会長会議ミニ講演会

生涯学習委員会委員長 梅原 郁夫

生涯学習委員会では、家庭のルールづくり「みなおそう！わが家の約束」の一环として、講師に長谷川幸介氏（茨城大学生涯学習教育研修センター准教授）、外岡 仁氏（江戸文化・江戸しぐさ研究会主宰）をお迎えし、「人は独りでは、生きられない。」と題してのミニ講演会を行いました。

まず、長谷川先生からは、「人間の出産とは、計画的早産であり、人とのふれあいにより成長することや、「学校教育は一つの答えを教え、地域は人の数だけ答えのあることを伝える。家庭は自信を与えるところであり、この三点を頂点とした三角形の連続の中を子どもたちは進んでいく。これが、子どもが成長していく過程であり、私たちは比べられない世界の中に生きている」ことなど、理論的な事柄をわかりやすくユーモアを交えて、楽しくお話ししていただきました。

また、外岡先生とのコラボトークでは、江戸時代の人たちの「共生の知恵」、「江戸しぐさ」について、寺子屋のお話や子育ての言葉「三つ心、六つ躰（しつけ）、九つ言葉、文十二、理（ことわり）十五で未決まる。」などをお話していただきました。

楽しい時間の中でも多くの「気づき」を与えていただけの講演会だったと思います。ただ、企画者としては、講演時間を一時間しか取ることができなかったことが後悔されます。各単位PTAでも、ぜひともこの講演会を企画されてはいかがでしょうか？



にこやかな長谷川先生・外岡先生

『PとTと地域が一層の連携を』

日立市教頭会 会長 豊田賢一



平成二十一年度の市P連のスローガンは『交流と連携のスタビリティをめざして』。ひかりかがやきたくましく、ちからあふれる、ひたちっ子の育成のために、そのスローガンをよりどころに、各委員会がそれぞれのテーマを掲げて、茂野会長さんのリーダーシップのもと、多くの単位PTAの会長さん、母親委員さん、そして関係各位のお力添えにより大きな成果をあげられてきたことに、まずお礼申し上げます。

そもそもPTAとは、PとTが地域団体の協力も得ながら「連携」して、児童生徒の健全な成長を支援する応援団であることは、誰もが承知しているところですが、

それでは「連携」とは何でしょうか。私も教職員は、学校が主体となった事業計画等に、保護者や地域の方が協力してくれるものと、とらえているのがほとんどかと思えます。正直、私自身もそのように甘んじています。しかし、それでは双方の関係とはいえません。Pや地域が主体となって計画した活動に教職員が協力する場面も望まれるはずで、それは、各委員会での研修であり、親父の会の活動であり、懇親会であり、地域のお祭り等でしょうか。

それらに積極的に参加することによって、教職員・保護者・地域の方々との間で輪が広がり、より親密になつて強力な協力体制ができてくるのでしよう。その「連携」がしっかりとできて、「連帯」に深まっていくのかなと思います。

幸いにも、本学区では地域の交流センターが中心となつて、月一回程度のボランティア活動が展開されています。そこへ、生徒を含め、教職員、保護者が自主的に参加させていただいており、「連携」の輪ができていくものと考えます。

各学校には、年三回程度で単位PTAからの広報紙が届けられます。その中それぞれ学校での「連携」の深まりの様子をつぶさに理解するとともに、自らのP

TAでの活動を省みたりします。また、いろいろな席上で、市P連の役員の方々と一緒にさせていただき、そこでのごあいさつの柔らかさや、場の設定のすばらしさには多くのことを学ばせていただいております。さあ、「連携」を深めて、子どもたちのために前進しましょう。

猛威をふるった

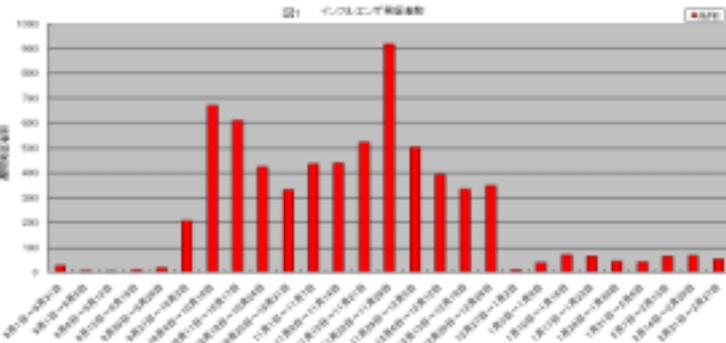
新型インフルエンザ

「グラフで見る新型インフルエンザの流行」

情報委員会 日高中 高橋 昭哲

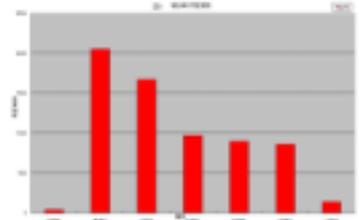
今年の小・中学校活動で特徴的なものに新型インフルエンザの影響があります。関西地方での流行により、中学校の修学旅行が延期となりました。学校行事、地域行事の中止や延期が相次ぎ、児童・生徒達には悲しい思いをさせました。

一月二十二日まで、日立市内小・中学校のインフルエンザ発症者は六六五〇名です。全児童・生徒の約四割が罹患し、学級閉鎖も最大時には一〇一学級に達しました。



す。冬休みで一旦は終息したかに見えたが、年が明けてからも週に数十名が発症しています。

図2は、曜日毎の発症者です。土・日曜日が少なく、月・火曜日に集中しています。これは土・日曜日が医療機関の休診日で、診断が遅れたためと思われる。



成沢小学校「おやじの会」

日立市教育振興大会にて発表

情報委員会委員長 根本 功

八月二十日、日立市教育振興大会において成沢小学校「おやじの会」の発表がありました。成沢小「おやじの会」は、全世帯に「お父さん出番ですよ!」と呼びかけ、平成十八年五月に結成されました。

「すべては、子どもたちのため」という思いで、自ら手を上げたおやじたち四十一人が、できる人ができる時にできる事を、無理なく・楽しく・仲良く」と言うスタイルで活動中です。

毎朝登校時のパトロール(負担にならない様、当番制なし)、おやじ水泳教室(着衣水泳、ベクトポトル浮き具体験)、照明無し夜間プール体験、夜のピクニックなどを行っています。

おやじたちの楽しみは「子どもたちの輝いた瞳と笑顔」、おやじたちの願いは「子どもたちの安心と安全」、おやじたちの思いは「子どもたちに夢と希望を」と締め括っていました。



日立市立小・中学校PTA連合会

広報誌 みらい 第三十六号

平成二十二年三月十五日発行